

令和6年度事業報告書

公益社団法人 宮城県航空協会

自：令和6年4月 1日

至：令和7年3月31日

総 括

令和6年度は、令和5年度同様不安定な世界情勢が続き、円安、燃料、物価の高騰等、引き続き当協会を取り巻く環境は厳しく不透明な1年となりました。

そのような状況下でも活動は順調で飛行回数、時間とも例年に比べ大きく伸ばすことが出来ました。新しい試みもありました。年末年始、ゴールデンウィーク連休、お盆の連続フライトに加え、若い教官が発案し、9月、2月も連続フライト実施。全国から多くの愛好者が集まりました。2月の連続フライトでは及川会員が、角田で初となる南方向への50km クロスカントリーを達成。銀章を取得する等、大きな成果がありました。

また、航空従事者指定養成施設の角田訓練所として初となるコースを開設。2名の自家用操縦士が誕生しました。3月には2回目となる令和6年度第7期コースも開設。令和7年4月の審査に向けて訓練中です。

機材も充実しています。芳賀会員が所有していたLS4-a JA21XGをご寄付いただきました。早速XCフライトに活躍しています。これまで滝川会員のご厚意によりクラブフライトに使用させていただいていたTwinⅢ JA2554については、売却されるとのことでしたので、これからの安定的な飛行訓練の継続のため、購入いたしました。石川会員は高性能複座機 DuoDiscusT JA02DTを購入。ご厚意によりクラブフライトに全面的に開放していただくことになりました。これにより、複座でのXCトレーニング、ウェーブによる高高度飛行トレーニングが安全に実施できるようになりました。

大きな事故もなく、無事に令和6年度のフライトを終える事が出来ました。

厳しい情勢の中でこのように活動が続け、前に進むことが出来たのは会員の皆様のご協力の賜物です。

令和7年度も協会の活動と発展に一層のご協力をいただけます様よろしくお願い申し上げます。

事業の概要

[公益事業 1]

(1) 定款第4条第1号の事業（航空機の操縦訓練とその関連事業）

1-1. グライダーによる練習会を主に土曜、日曜及び祝祭日に行った。

[宮城県航空協会の部]

角田滑空場：120日

延べ参加者人数：2,762名

角田滑空場：120日

延べ参加者人数：1,210名

機 種	飛行時間（時間+分）	飛行回数	機 種 名
JA2326	186+23	925回	複座 ASK21
JA2554	71+02	331回	複座 ツインⅢ
JA2325	32+33	91回	単座 ピラタス B4

JA2178	92+41	152 回	複座	SF28A フェルケ
JA2401	47+41	18 回	複座	DG-400
JA2458	39+47	16 回	単座	Discus bT
JA201B	14+14	31 回	単座	H201B
JA2186	2+46	2 回	単座	H205 個人会員搭乗分
JA21XG	37+13	55 回	単座	LS4a neo
JA2521	0+07	1 回	単座	SZD-55-1
JA02DT	20+42	14 回	複座	DuoDiscusT
合 計	580+51	1642 回		

[団体会員東北大学航空部の部]

角田滑空場活動：96 日 延べ 1194 人参加			角田滑空場以外の活動：4 日	
機 種	飛行時間 (時間+分)	飛行回数	飛行時間 (時間+分)	飛行回数
JA40AK	160+20	869 回	3+48	22 回
JA01VT	53+29	129 回	9+45	30 回
JA2173	106+43	620 回	0+00	0 回
JA2186	28+57	57 回	0+00	0 回
合 計	349+29	1675 回	13+33	52 回

1-2. 訓練の成果

エンジンの無いグライダーの訓練成果の 1 つに滞空時間やクロスカントリーの野外飛行があげられる。

令和 6 年度の滞空時間の内訳

時 間	回数 (航空協会)	回数 (東北大)	合 計
1 時間以上	76 回	58 回	166 回
内 2 時間以上	33 回	9 回	42 回
内 3 時間以上	14 回	3 回	17 回
内 4 時間以上	6 回	2 回	8 回
内 5 時間以上	1 回	2 回	3 回

令和 6 年度の距離飛行(100km 以上)の内訳 (OLC に投稿されたデータを集計)

日 時	飛行距離(km)	使用機体	備 考
2024/4/13	159.32	JA2458	
2024/4/20	108.59	JA2458	
2024/5/3	132.56	JA2458	
2024/6/15	195.32	JA2458	
2024/6/29	194.00	JA2401	
2024/7/6	104.54	JA2401	
2024/7/28	508.90	JA2401	
2024/11/9	153.06	JA2458	
2024/11/30	351.41	JA2458	
2024/12/1	278.37	JA2458	

2024/12/7	109.24	JA2458	
2024/12/15	117.92	JA2401	
2024/12/28	107.63	JA2401	
2025/1/1	140.71	JA21XG	
2025/1/1	113.46	JA2458	
2025/2/15	312.05	JA2401	
2025/2/15	296.76	JA2458	
2024/4/13	159.32	JA2458	
2024/4/20	108.59	JA2458	
2025/2/19	137.00	JA21XG	
2025/2/21	103.78	JA2458	
2025/2/22	112.07	JA01VT	
2025/2/23	131.48	JA2401	
2025/3/1	104.81	JA2401	
2025/3/20	175.39	JA2401	
2025/3/22	307.24	JA02DT	
2025/3/23	172.22	JA02DT	
2025/3/23	156.27	JA01VT	
2025/3/29	130.74	JA02DT	
2025/3/30	119.94	JA02DT	
合 計	5034.78		※

注：OLCとは：オン・ライン・コンテストの略。インターネット上で毎日記録のコンテストを行っているサイト。
 ※例年は50 km以上の飛行を集計しているが、令和6年度は110件を超えるため、100 km以上のフライトを集計した。
 例年通りの集計をすると合計は7392kmとなる。

1-3. 特定技能審査の実施 滑空機 社会人7名、学生3名

1-4. 実地試験の実績

操縦教育証明実地試験の受験 令和6年度の実績無し

自家用操縦士実地試験 航空協会0名

東北大 2名 池田、高橋

航空従事者指定養成施設 航空協会0名

東北大2名 立原、井上（3月31日現在、令和6年度第7期コースを周、茨の2名が実施中）

(2) 定款第4条第2号の事業（航空機等展示、体験飛行、展示飛行による航空に関する知識、特に航空スポーツの知識の普及事業）

2-1 子供グライダー教室

スカイネット角田、スポコム角田と協力し子供グライダー教室を4回計画し、3回実施

第1回 開催日時：令和6年7月14日（日）10:00～11:30

参加人数：7名

教室内容：ウィンチ曳航による体験飛行

使用機体：JA2326、JA2554、JA40AK

第2回 開催日時：令和6年10月13日（日）10:00～11:30

参加人数：9名

教室内容：ウィンチ曳航による体験飛行

使用機体：JA2326、JA2554、JA40AK

第3回 開催日時：令和6年11月24日（日）10:00～11:30

参加人数：3名

教室内容：ウィンチ曳航による体験飛行

使用機体：JA2326、JA2554

2-2 通常訓練時に角田滑空場の来場見学者にグライダーを説明し地上における体験搭乗を行った。

また、希望者には体験飛行を提供した。

開催日：通常訓練時随時 74日

訪問見学者：328名がグライダーの説明を聞きその330名が体験飛行を行った。

その他阿武隈川堤防からの見学者多数あり。

体験搭乗は臨時会員を含む

2-3 県民グライダー教室

新たな試みとして宮城県民を対象とした「県民グライダー教室を開催」。角田市報及び河北新報にて広告を行い、多くの県民が1日入会体験をした。

開催日：令和6年8月13日（火）～18日（日）

会場：角田滑空場

使用機体：JA2326、JA2554、JA2178

参加人数：6人

(3) 軽飛行機、グライダー、モーターグライダーを使用した地上展示、地上搭乗体験及びデモフライト

3-1 角田宇宙っ子まつり

スカイネット角田と協力し角田市が主催する「角田宇宙っ子まつり」においてグライダー展示、紙飛行機大会、イラストコンテストを実施し開催を支援した。

開催日：令和6年5月5日

会場：角田市台山公園

展示機体：Pilatus B4

来場者数：約3,000人（主催者発表）グライダー展示会場に約300人

(4) グライダー、モーターグライダーを使用した技量記章及び記録認定事業

4-1 日本滑空記章

A章 航空協会0名

東北大5名（立原、周、茨木、春田、坂本）

B章 航空協会0名

東北大6名（井上、立原、周、茨木、春田、坂本）

C章 航空協会0名

東北大5名（井上、春田、周、立原、坂本）

銅章 航空協会0名

東北大4名（伊藤、高橋、周、坂本）

4-2 F A I 国際滑空記章

銀賞距離 50km 航空協会1名（及川 令和7年2月21日）

銀賞滞空 5時間 東北大2名（角田 令和6年4月20日、伊藤 令和6年5月11日）

銀賞高度 1000m 航空協会 1 名（山本 令和 7 年 3 月 22 日）
 東北大 4 名（角田 令和 6 年 4 月 20 日、伊藤 令和 6 年 5 月 25 日、
 高橋 令和 6 年 5 月 26 日、坂本 令和 7 年 3 月 23 日）
 ダイヤ高度 5000m 航空協会 1 名（西川 令和 6 年 12 月 30 日）
 銀章 航空協会 1 名（及川 令和 7 年 2 月 21 日）

(5) 飛行技術研究とその成果の伝承事業

5-1 異常飛行姿勢からの回復操縦訓練

・「錐もみ」状態に陥らないための訓練を中心に随時実施

5-2 ウェーブコンタクトフライト

最高到達高度	回 数	備 考
2,500m～3,000m	7	
3,000m～4,000m	16	要酸素飛行
4,000m～5,000m	4	要酸素飛行
5,000m以上	3	要酸素飛行
計	30 回	

5-3 高高度飛行及び長距離飛行の飛行技術研究及びその伝承

川原会員が OLC2024 で獲得ポイント 1575.93 で日本 4 位

OLC2025 で獲得ポイント 1441.21 で暫定日本 2 位

齋藤会員が OLC2024 で獲得ポイント 1837.25 で日本 2 位

OLC2025 で獲得ポイント 1167.31 で暫定日本 3 位

口村会員が OLC2024 で獲得ポイント 1426.68 で日本 4 位

(6) 定款 4 条第 5 項の事業（その他この法人の目的達成に必要な事業）

6-1 東北大学ウインドノーツ（鳥人間コンテストに出場のためのクラブ）にテスト飛行のため 角田滑空場の使用許可を出した。

期 間：令和 6 年 5 月 26 日～7 月 8 日

使用実績

5 月 26 日 走行試験 1 回、飛行試験 8 回

6 月 8 日 走行試験 1 回、飛行試験 4 回

6 月 15 日 走行試験 1 回、飛行試験 9 回

6 月 22 日 走行試験 1 回、飛行試験 5 回

6 月 30 日 走行試験 1 回、飛行試験 6 回

7 月 6 日 走行試験 1 回、飛行試験 6 回

大会結果：令和 6 年 7 月 28 日 優勝

6-2 全国グライダークラブミーティング

全国グライダークラブの指導者が集まり、情報交換、指導のあり方、事故防止対策等を話し合う
 目的の会議

第 12 回グライダークラブミーティング

開催日：令和 6 年 10 月 26、27 日

場所：長野県諏訪市霧ヶ峰滑空場

幹事クラブ：諏訪市グライダークラブ

実施方法：対面及にて実施

参加クラブ：諏訪市グライダー協会、GlidingJapan 編集部、JSA（日本滑空協会）、（公財）日本学生航空連盟、（公社）滝川スカイスports振興協会、（公社）宮城県航空協会、（公社）長野グライダー協会、NPO 関宿滑空場、（公社）日本グライダークラブ、中部日本航空連盟（岐阜）、中部日本航空連盟（愛知）、ヤマハ SC、大野グライダークラブ、NPO 九州グライダーSports連盟

参加者数：13 団体 19 名

6-3 滑空スポーツ実技講習会 2024

曳航機の都合がつかず、角田滑空場での開催見送り

6-4 航空安全講習会・滑空スポーツ講習会 2022

新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインにて開催、適時会員が参加。

日 時： 第 1 回 2024/12/14（土）

第 2 回 2025/01/18（土）

第 3 回 2025/02/16（日）

第 4 回 2025/03/08（土）

[公益事業 2]

1. 定款第 4 条第 4 号の事業（災害発生及び緊急時離発着場として提供できる関連施設の設置・運用と維持管理事業）

仙台空港を基地とするヘリコプターを使用する航空会社は申請ありませんでした。しかし、災害や救急は何時発生するかわからないため、申請の有無にかかわらず着陸帯の草刈り等の整備維持管理を行いました。

庶務の概要

1. 社員及び会員の移動

	()内は正社員数	入会者数	退会者数
令和 6 年 4 月 1 日時点の総会員数	89 名 (83 名)	10 名	1 名
令和 7 年 3 月 31 日時点の総会員数	98 名 (92 名)		

2. 定款第 13 条第 2 項による社員総会の開催

1. 日 時 令和 6 年 6 月 8 日（土）午後 2 時～午後 3 時 10 分
2. 場 所 宮城県航空協会 角田事務所 パイプハウス
3. 出席社員 68 名（うち委任状による出席者 49 名）
4. 議事録署名人 議長 専務理事 滝川勉、代表理事 齋藤岳志、理事 川原明紘、延山龍介
5. 議題と議事の経過及びその結果

第 1 号議案 令和 5 年度事業報告書について

齋藤代表理事及び酒井理事より、令和 5 年度の事業報告について事業報告書に基づき説明が行われた。上記の説明の後、議長が質問、意見を求めたが特に発言がなく、承認を諮ったところ、原案どおり賛成多数をもって承認可決された。

第2号議案 令和5年度決算報告書について

鳥居理事より、令和5年度の決算内容について決算報告書（貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、その付属明細書、財産目録）に基づき詳細に説明が行われた。

さらに、角田監事より、上記の書類は適正に処理されていることが認められたとの監査報告が行われた。

また、六本木監事より、上記の書類は適正に処理されているが収益が費用を大きく上回っていることや利益相反取引についての意見が述べられた。したがって監査報告をそれぞれ添付。上記の説明の後、議長が質問、意見を求めたところ、以下の質問および回答があった。

Q1.直近3年間で毎年500万円の積立を実施しているが過剰ではないのか、積立ありきの料金設定となっているように思われるがどうなのか？

A1.齋藤理事長より、積立金について当協会はスポンサーのいない団体であるため、設備や機材を更新するためにはその費用を計画的に積み立てる必要がある。また現在の物価上昇、円安傾向等の情勢を考慮した上で、理事会で協議し必要な積み立てを実施している旨の説明があった

Q2.現在の事務所や機材更改のためには積み立てが必要と理解している。また滑空場の見学者との会話の中で、料金だけでなくライセンス取得期間についても大きなハードルとなっている旨を聞くことが多い。

A2.齋藤理事長より、事務所や機材の更新については引き続き理事会で協議中である旨の説明があった。

Q3.料金体系について、入会金の金額によって異なるがその料金差について現在の体系のまま進めるのか？

A3.齋藤理事長より、現在理事会にて協議中であり、今すぐに料金体系を統一することは他の規程との兼ね合いもあり難しいが整理を図りたい。新体系を適用する場合は事前に周知して移行できるようにしたいと考えている旨の説明があった。

その後、承認を諮ったところ、原案どおり賛成多数をもって承認可決された。

第3号議案 任期満了に伴う役員改選について

最初に理事の選出について齋藤代表理事より、定款第25条1項の定めにより当法人の理事全員が、本定時社員総会の終結の時をもって任期満了により退任すること。今回の役員改選では酒井理事、山内理事は退任し、佐々木匡氏を理事に推薦する旨の説明があった。

議長は重任及び新任の理事について候補者ごとに個別に賛否を議場に諮ったところ、それぞれ賛成多数で承認可決された。

なお、定時社員総会に出席している被選任者については、席上でそれぞれが就任を承諾した。就任承諾書は全員から6月8日付で提出して貰うこととした。

理事（重任） 齋藤岳志、滝川勉、佐藤忠義、菅原壽、鳥居大地、川原明紘、延山龍介

（新任） 佐々木匡

（退任） 酒井忠政、山内宏

続けて監事選出について齋藤代表理事より、定款25条第2項の定めにより当法人の監事全員が本定時社員総会の終結の時をもって任期満了により退任すること、今回の役員改選では六本木監事、宍戸監事が退任し、次期監事の候補者は角田竜一氏に重任して貰い、川合真和氏を監事に推薦する旨の説明があり、議長は候補者ごとに個別に賛否を議場に諮ったところ、それぞれ賛成多数で承認可決された。

なお、定時社員総会に出席している被選任者については、席上でそれぞれが就任を承諾した。就任承諾書は両名から6月8日付で提出して貰うこととした。

監事（重任） 角田竜一
（新任） 川合真和
（退任） 六本木利之、宍戸忠

6. 報告事項等

(1)令和 6 年度事業計画について

令和 6 年度第 4 回理事会（2 月 10 日）にて承認された事業計画について報告した。

(2)令和 6 年度収支予算について

令和 6 年度第 4 回理事会（2 月 10 日）にて承認された収支予算について報告した。

○臨時理事会の開催

1. 日 時 令和 6 年 6 月 8 日(土) 午後 3 時 15 分～午後 3 時 30 分
2. 場 所 宮城県航空協会 角田事務所 パイプハウス
3. 構成員 理事 8 名、監事 2 名
4. 出席者 (理事) 齋藤岳志、滝川勉、佐藤忠義、菅原壽、鳥居大地、川原明紘、延山龍介、
佐々木匡
(監事) 角田竜一、川合真和

5. 議事の経過の要領及び結果

定刻に至り、代表理事不在のため滝川理事が仮議長となり臨時理事会の開催を宣言し互選で議長に滝川勉氏が選ばれて議長となった。

滝川議長より、本臨時理事会は定款第 32 条第 5 項により、理事、監事の同意を得て、招集手続きを省略したとの報告があり議事に入った。

(1)代表理事（理事長）および専務理事（理事）選任の件

議長から、本日開催の令和 6 年度定時総会において任期満了による理事の改選が行われ 8 名が選任され、代表理事を選任する説明があった。

代表理事については齋藤岳志氏と菅原壽氏が立候補したため選挙を実施し、投票の結果齋藤岳志氏が賛成多数で選出された。

次の者が代表理事（理事長）に選任され、就任することを承諾した。

代表理事（理事長） 齋藤 岳志

次に齋藤代表理事が議長になり専務理事選出を行い、互選の結果、次の者が専務理事（理事）に選任され、就任することを承諾した。

専務理事（理事） 滝川 勉

(2)新入会員の承認について

齋藤岳志代表理事より、虎谷健、岡田康孝からの入会申込について説明があり、定款第 6 条に基づきこの賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

3. 定款第 31 条 2 項による理事会の開催

第 1 回 理事会

1. 日時 令和 6 年 5 月 4 日(土) 18 時 00 分～20 時 40 分
2. 場所 宮城県航空協会 角田事務所
3. 出席者 代表理事 齋藤岳志、専務理事 滝川勉、理事 酒井忠政、佐藤忠義(web)、菅原寿、
鳥居大地、山内宏、川原明紘、延山龍介(web)
監事 六本木利之、宍戸忠、角田竜一(web)
4. 議題と議事の経過及びその結果

(1) 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告（案）承認について(資料 1)

齋藤岳志代表理事より令和 5 年度事業報告案について、酒井忠政理事より庶務の概要について説明があり、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(2) 第 2 号議案 令和 5 年度決算報告（案）承認について（資料 2-1～2-6）

鳥居大地理事より令和 5 年度決算内容について決算報告書(貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書、財産目録)に基づき説明が行われ、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。なお、監査報告は別途提出の上メールにて報告することとした。

(3) 第 3 号議案 令和 6 年度定時社員総会について

定款第 13 条 2 項では毎年 1 回 6 月に開催すると定めており、令和 6 年度総会を 6 月 8 日(土)14 時から角田事務所パイプハウスにて開催することについて齋藤代表理事及び酒井理事より説明があり、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

なお、13 時から総会前打合せを行い役割分担等を確認する。総会后臨時理事会で代表理事、専務理事の選出を行うこととする。また、懇親会は行わない。

(4) 第 4 号議案 利益相反ポリシー（案）策定について（資料 3）

齋藤代表理事より、利益相反ポリシー(案)について説明があり、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(5) 第 5 号議案 機体持ち込みにおける角田滑空場の使用の原則の改訂について（資料 4）

本議案の審議に当たり滝川勉専務理事が議長を務め、酒井忠政理事が議事録を作成した。

本議案の審議において、特別の利害関係を有する理事である齋藤岳志代表理事、川原明紘理事、菅原寿理事、延山龍介理事の審議への参加について、その賛否を諮ったところ議長滝川勉専務理事を除く酒井忠政理事、山内宏理事、佐藤忠義理事、鳥居大地理事の 4 名全員賛成で参加することを認めた。

本議案の議決にあたり、特別の利害関係を有する理事である齋藤岳志代表理事、川原明紘理事、菅原寿理事、延山龍介理事は退席し、酒井忠政理事、山内宏理事、佐藤忠義理事の 3 名（議長含まず）の賛成により承認された。

なお、参考分類資料の 3 項を「東北大学が所有する機体」に改めることとした。

(6) 第 6 号議案 JA2401 機体持込に関する覚書締結の可否について（資料 5）

本議案の審議に当たり滝川勉専務理事が議長を務め、酒井忠政理事が議事録を作成した。

本議案の審議において、特別の利害関係を有する理事である齋藤岳志代表理事、川原明紘理事、延山龍介理事の審議への参加について、議長滝川勉専務理事を除く酒井忠政理事、山内宏理事、佐藤忠義理事、菅原寿理事、鳥居大地理事の 5 名全員賛成で参加することを認めた。

本議案の議決にあたり、特別の利害関係を有する理事である齋藤岳志代表理事、川原明紘理事、延山龍介理事は退席し、酒井忠政理事、山内宏理事、佐藤忠義理事の 3 名（議長含まず）の賛成により承認された。

(7) 第 7 号議案 JA2458 機体持込に関する覚書締結の可否について（資料 6）

本議案の審議に当たり滝川勉専務理事が議長を務め、酒井忠政理事が議事録を作成した。

本議案の審議において、特別の利害関係を有する理事である齋藤岳志代表理事、川原明紘理事、延山龍介理事の参加について、議長滝川勉専務理事を除く、酒井忠政理事、山内宏理事、佐藤忠義理事、菅原寿理事、鳥居大地理事の 5 名全員賛成で参加することを認めた。

本議案の議決にあたり、特別の利害関係を有する理事である齋藤岳志代表理事、川原明紘理事、延山龍介理事は退席し、酒井忠政理事、山内宏理事、佐藤忠義理事の 3 名（議長含まず）の賛

成により承認された。

(8) 第 8 号議案 任期満了に伴う役員改選について (資料 7)

齋藤岳志代表理事より任期満了に伴う役員改選案について説明があり、齋藤岳志代表理事、酒井忠政理事、佐藤忠義理事、山内理事、川原明紘理事、延山龍介理事 6 名の賛成(議長含まず)で承認された。

鳥居理事から新役員に東北大学名誉教授の小濱泰昭氏を推薦したいとの提案があったが、今回は見送り次期改選までに検討することとした。

(9) 第 9 号議案 新入会員の承認について

齋藤岳志代表理事より吉井翼、朝比奈一輝からの入会申込について説明があり、定款第 6 条に基づきこの賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

5. 報告事項

(1) 事務所北側土留工事完了について

事務所北側土留工事については、令和 6 年 4 月に丸眞建設が施工し予算内で竣工した。

(2) GW SPECIAL TRAINING

4 月 27 日～5 月 6 日実施、期間中の臨時会員は青山学院大学体育会航空部 1 名、同志社大学体育会航空部 4 名、北海道大学体育会航空部 5 名、日本モーターグライダークラブから 3 機の参加があった。

(3) 宇宙っ子祭り

令和 6 年 5 月 5 日角田市台山公園で実施される宇宙っ子祭りに、社会人 2 名、東北大学航空部員 3 名でピラタス B4(JA2317)を展示して参加する。

(4) DuoDiscusT JA200A 経緯について

令和 6 年 3 月 30、31 日に角田滑空場において DuoDiscusT(JA200A)のテストフライトを実施し、20mクラスの高性能複座機を角田で運行できることが確認できた。

その後、所有者よりこの機体については長野市滑空場で運航を継続することとした旨の連絡があり、協会としての購入は見送ることとなった。

第 2 回 理事会

1. 日時 令和 6 年 8 月 10 日(土) 18 時 00 分～20 時 00 分

2. 場所 宮城県航空協会 角田事務所

3. 出席者 代表理事 齋藤岳志、専務理事 滝川勉、理事 菅原寿、鳥居大地、川原明紘
延山龍介(Web)、佐々木匡 監事 角田竜一
(欠席) 理事 佐藤忠義 監事 川合真和
(オブザーバー参加) 酒井忠政、棚木友貴

4. 議事の経過の要領及びその結果

(1)第 1 号議案 新入会員の承認について

齋藤岳志代表理事より、千葉淳 からの入会申込について説明があり、定款第 6 条に基づきこの賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(2)第 2 号議案 芳賀靖会員からの単座機 JA21XG 寄付申し出について(資料 1)

齋藤代表理事より芳賀靖会員からの機体の寄付について説明があり、賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

出席理事より維持費と稼働率の見込み、耐空検査実施時期について意見があった。

搭乗料金は JA2325 と同じとし、駐機料は無く、名義変更に係る費用、機体保険、耐空検

査、無線検査及びトレーラーの不具合修理費用等については協会が負担することとした。

5. 報告事項

(1) 役員変更登記完了―履歴事項全部証明書 令和6年6月18日

酒井忠政会員が仙台法務局へ役員変更登記を申請し、7月1日に履歴事項全部証明書が発行された旨の報告があった。

(2) 耐空検査、トレーラー車検、無線検査状況について

JA2325, JA2326 については耐空検査、トレーラー車検、無線検査を完了した。

JA2554 はトレーラー車検、無線検査ベンチチェックを終了し、8月13日に耐空検査と無線検査の録音を予定する。

今後の無線検査は「TF ナビゲーション」の藤代さんに代わり「フライトエンジニアリングめぬま」の金井さんに依頼する。

(3) 新入会員獲得に向けた広報活動の状況について(資料3)

棚木会員より、Google 広告の運用状況について説明があった。

実施結果を踏まえ、今後の運用について補正予算の計上を含め検討することとした。

プレスアート社の冊子 Kappo for doctor 掲載に関する問い合わせは2件あった。

滑空場で見学者や体験搭乗者に対応する場合、どんな広告を見て来場したのか聞くことで広告効果の確認ができることからその旨周知する。

(4) 滑空場使用申請状況について

齋藤代表理事より、滑空場使用申請状況について報告があり、鳥居理事から滑空場維持管理整備費の請求書を送付した。

東北大学 windnauts が6回使用。

アイリスオーヤマが7月12日に1回使用。

朝日航洋の使用申請については、緊急時利用で騒音対策を講じることを前提に使用を許可することとする。

(5) JA2178 の修理完了について

齋藤岳志代表理事より、JA2178 の修理完了について報告があった。

エンジンのシリンダヘッド固定ボルト折損の修理を JMGC で行い修理費総額 56 万円。

機体の陸送は矢野会員、修理後の空輸は6月22日に須田会員が行った。

(6) 指定養成について

菅原寿理事より東北大学航空部員2名が9月14日からコースを開始する旨の報告があった。今後の指定養成コース開設は職務執行状況に記すこととする。

第3回 理事会

1. 日時 令和6年12月7日(土) 17時00分～20時00分

2. 場所 宮城県航空協会 角田事務所

3. 出席者 代表理事 齋藤岳志、専務理事 滝川勉、理事 佐藤忠義、菅原寿、鳥居大地、川原明紘、延山龍介(Web) 監事 川合真和、角田竜一(Web)
(欠席) 理事 佐々木匡
(オブザーバー参加) 酒井忠政、宍戸忠

4. 議事の経過の要領及びその結果

(1) 第1号議案 JA2554 の購入について(資料1)

本議案は利益相反取引に該当する可能性があることから、当協会が定める利益相反ポリシー

に基づき、鳥居大地理事、延山龍介理事、川原明紘理事を委員とする検討委員会を設置し、オブザーバーとして川合真和監事が参加し 11 月 29 日に検討を行った。

検討委員会の鳥居大地委員長より、本議案が利益相反行為に該当し利益相反取引に該当する可能性が高いという結論である旨の報告があった。

よって、理事会は本議案を利益相反取引に該当するものとして取り扱い、滝川勉専務理事は退席の後、齋藤岳志代表理事より本議案について説明があった。

その後本議案について賛否を諮ったところ、賛成多数で本議案は可決された。

購入資金については、複座練習機購入のための特定積立資金を使用することとする。

(2)第 2 号議案 石川会員所有 DuoDiscusT JA02DT の機体持込覚書承認について(資料 2、3)

齋藤岳志代表理事より説明があり、過去に利益相反取引に関する同様の議案について理事会で承認されていることから、利益相反に関する検討委員会の設置を省略し、関係する齋藤岳志代表理事、川原明紘理事は退席のち審議を行い、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

当該機は 2 月中旬に稼働する予定で、会員のウェブ体験、フック付き動力滑空機の資格取得のための訓練等公益事業にも使用する。

公益事業に使用した場合の賃借料については、実績を踏まえて再検討することとする。

(3)第 3 号議案 JA2178 用トレーラーの購入について(資料 4、5)

齋藤岳志代表理事より JA2178 用トレーラー購入について説明があり、以前見積もりをとった国内メーカーのトレーラーに比べて 100 万円程度安く、専用の胴受を発注することについても検討し、購入することについて賛否を諮ったところ、賛成多数で承認された。

購入は既に発注されている同型式のトレーラー現物を確認してから行うこととした。

(4)第 4 号議案 令和 6 年度補正予算の承認について(資料 6、7、8)

齋藤岳志代表理事と鳥居大地理事より令和 6 年度補正予算案について説明があり、その賛否を諮ったところ、全員異議なく承認された。

(5)第 5 号議案 新入会員の承認について 山本芳孝(9 月入会)

齋藤岳志代表理事より、山本芳孝 からの入会申込について説明があり、定款第 6 条に基づきこの賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

5. 報告事項

(1) Summer Course2024 終了 8 月 10～18 日 延べ発航回数 62 回

(2) 県民グライダー教室を 8 月 10～18 日開催 6 名参加

(3) Autumn Course2024 終了 9 月 14 日～23 日 延べ発航回数 108 回

(4) 指定養成施設角田コース修了 10 月 13 日

東北大学航空部 井上、立原 2 名が技能審査に合格した。

(5) 仙台空港祭が 10 月 12 日行われ、機体展示及びポスターや幟により入会勧誘を行った。

(6) 子供グライダー教室終了 ①7 月 14 日、②10 月 13 日、③11 月 24 日

8 月、9 月予定されていた回は台風の影響で中止した。

(7) 全国クラブミーティング 2024 霧ヶ峰参加 10 月 26、27 日

齋藤岳志代表理事が出席し、全国のグライダークラブとの意見交換や情報共有を行ったとの報告があった。

(8) JSA インストラクター委員会について

当協会から、佐々木匡理事を委員として推薦した。

(9) JA21XG 芳賀会員から寄附を受け移転登録、無線局承継完了

移転登録手続きは佐々木匡理事が、無線局承継の手続きは延山龍介理事が実施し、それぞれの手続きが完了した。

(10) Wave Camp2024-2025 準備状況について

滝川勉専務理事より、令和 6 年 12 月 28 日～令和 7 年 1 月 5 日までの期間 1 日あたり 8 人の受け入れを想定。30 名以上の問い合わせがあり定員に達したため受付を終了した。

(11)EMFT2024 中止について

齋藤岳志代表理事より、11 月 30 日～12 月 1 日に開催を予定していた EMFT 講習会は、JMGC の曳航機の都合により中止した旨報告があった。

当協会としては、会員の AT 体験機会を増やせるように連休を利用した日程で曳航機を手配し EMFT などの講習会を開催することを検討していく。

第 4 回 理事会

1. 日時 令和 7 年 2 月 8 日(土) 17 時 00 分～18 時 20 分
2. 場所 宮城県航空協会 角田事務所
3. 出席者 代表理事 齋藤岳志、専務理事 滝川勉、理事 佐藤忠義、菅原寿、鳥居大地、川原明紘、延山 龍介、佐々木匡(Web) 監事 川合真和
(欠席) 監事 角田竜一
(オブザーバー参加) 酒井忠政
4. 議事の経過の要領及びその結果
 - (1) 第 1 号議案 令和 7 年度事業計画(案)について (資料 1)
齋藤代表理事より令和 7 年度事業計画(案)について説明があり、賛否を諮ったところ、全員異議なく承認された。
 - (2) 第 2 号議案 令和 7 年度収支予算(案)について (資料 2)
齋藤代表理事より令和 7 年度収支予算(案)について説明があり、賛否を諮ったところ、全員異議なく承認された。
 - (3) 第 3 号議案 令和 6 年度補正予算(案)について (資料 3)
齋藤代表理事及び鳥居理事より令和 6 年度補正予算(案)について説明があり、賛否を諮ったところ、全員異議なく承認された。
 - (4) 第 4 号議案 臨時会員の操縦飛行・体験飛行等の料金表改訂について (資料 4)
滝川専務理事より臨時会員の操縦飛行・体験飛行等の料金表改訂について説明があり、審議の結果、一部修正して賛否を諮ったところ、全員異議なく承認された。
 - (5) 第 5 号議案 新入会員の承認について
齋藤岳志代表理事より土生健太郎、横尾心温からの入会申込について説明があり、定款第 6 条に基づきこの賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。
5. 報告事項
 - (1) NHK ウィークエンド東北の取材について
12 月 8 日に取材があり 14 日朝放送された。放映後問い合わせが数件あった。
 - (2) 近隣や区長等 9 件へのお歳暮を 12 月 21 日にお届けした。
 - (3) Wave Camp2024-2025 終了
今年度も 12 月 28 日～1 月 19 日にかけて Wave Vamp を実施し、獲得 5000m の記録が出るなどの成果があったが、期間中に LS-4 のキャノピーを損傷したため、JMGC で修理予定

である。

(4) 新しい公益法人制度説明会について

1月10日に宮城県庁で開催された公益法人制度説明会に齋藤代表理事、滝川専務理事、鳥居理事及び宍戸会員が出席した。

(5) JA2554 購入について

購入料の振込みを2月中に予定し、その後機体、無線局、トレーラー等の名義変更を行うため、各書類を準備中である。

(6) 指定養成施設運営委員会について

2月1日に航空会館で開催された指定養成施設運営委員会に齋藤代表理事、佐々木理事が出席した。角田では3月から東北大生2名が受講する予定。

(7) 令和6年度東北ブロック管制技術交流会・意見交換会について

3月14日に仙台空港で開催予定の東北ブロック管制技術交流会・意見交換会に齋藤代表理事、佐々木理事が出席する予定である。

尚、補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成しておりません。